

「シェーナウの想い」 上映と

東京における市民発電所のいま

日時：4月13日(日)
14:00~16:00
(13:30~受付)

場所：品川区荏原第五
区民集会所
第一集会室

定員：80名

資料代：200円



ドイツ南西部、黒い森の中にある小さなまちシェーナウ市の住民グループが、チェルノブイリ原発事故をきっかけに「自然エネルギー社会を子どもたちに」という想いから、「原子力のない未来のための親の会」(親の会)を結成し、ドイツ史上初の「市民の市民による市民のための」電力供給会社(EWS)を誕生させるまでの軌跡を綴るドキュメンタリーです。

1997年、EWSは念願の電力供給を開始します。チェルノブイリ事故をきっかけにした親の会の発足から、操業に至るまで実に10年もの歳月が流れていました。

製作：2008年 シェーナウ・環境にやさしい電力供給のための支援団体

監督：フランクニディーチェ / ヴェルナーニキーファー

日本語翻訳：及川齊志

■EWSが操業をはじめた翌年の1998年に、ドイツは電力事業の全面自由化にふみきりました。これにより、ドイツ国民はどこに住んでいても自由に電力会社を選択できるようになりました。

シェーナウ市：ドイツ連邦共和国バーデン＝ヴュルテンベルク州レラッハ郡に属す都市。ドイツの行政単位では市となるが、人口約2500人なので日本の感覚では町や村に近い

映画鑑賞の後、会場交流と 都内の市民発電について解説

会場の皆さんから感想をお聞きした後に、
都内各地で動いている市民発電所について
説明をいたします。

主催：原発いらない・さよなら原発 品川パレード実行委員会

連絡先 品川区二葉 1-8-6 平和共同事務所内 03-3783-3370 (TEL/FAX)

品川区旗の台 4-4-18-201 新婦人品川支部内 03-3787-5188